

海上交通の 安全を守る

Ensuring Maritime
Traffic Safety

瀬戸内海・宇和海に”安全”と”安心”を

海難を未然に防止するため国民に対する周知・啓発活動、「海の安全情報」の提供、ふくそう海域における安全対策、航路標識の管理など、海域の特性や事故の発生状況を踏まえたさまざまな安全対策に取り組んでいます。

海の安全推進活動

海難を防止するため、関係機関・団体と連携して、海難防止講習会の開催や船舶への直接訪問などにより周知・啓発活動を行っています。



安全講習会



メディアを活用した啓発活動

海の安全情報

全国の灯台などで観測した風向、風速、波高などの「海の安全情報」を提供しており、インターネットを通じてどなたでも簡単に利用することができます。



パソコン用サイト画面



スマートフォン用
サイト画面



ふくそう海域における安全対策

船舶交通がふくそうする瀬戸内海では、要衝に航路を設け地域独自の交通ルールを定めるほか、海上交通センターを設け航行する船舶の管制を行うなど特別な安全対策を行っています。



東島海峡海上交通センター



灯浮標の点検



釣島灯台(愛媛県松山市)

生命を 救う

Saving
Lives

尊い生命を救うことに全力を尽くす

海は、海上交通や漁業、マリレジャーなど様々な活動の場として利用されるかけがえのない存在ですが、時に衝突・転覆などの船舶事故やマリレジャー中の事故が発生する危険な場所でもあります。

海での痛ましい事故を起こさないため「自己救命策確保3つの基本+(プラス)」(裏表紙参照)について周知・啓発活動を行うとともに、海難が発生した場合には、強い使命感の下、迅速な救助活動を行っています。

海難情報の早期入手

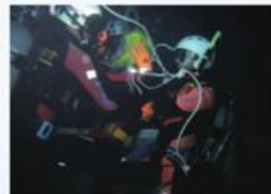
海の事件・事故の緊急通報用電話番号である「118番」通報、無線通報による情報を24時間体制で受け付け、直ちに巡視船艇・航空機などの救助勢力を投入し、的確な救助活動を行っています。



「118番」通報の受付

救助能力の維持向上

転覆や沈没した船舶などからの潜水による救助、ヘリコプターによる吊り上げ救助など、様々な海難救助に対応できるよう、日々訓練を行っています。



転覆船対応訓練

海難救助

危険が迫る救助現場では、荒天下であっても日頃の訓練やチームワークにより、果敢に任務を遂行しています。



火災船の消火



ヘリコプターからの降下



転覆船からの救助

治安の確保

Maintaining Maritime Order

瀬戸内海・宇和海の秩序・安全を守る

海上犯罪(密漁・無資格・無検査運航など)の監視取締り、密輸・密航の水際阻止、テロの未然防止、海上警備、関係機関と連携した犯罪情報の収集・分析など、瀬戸内海・宇和海の秩序・安全を守っています。

令和5年に開催されたG7広島サミット及びG7香川・高松都市大臣会合では、六管区内や全国から集結した巡視船艇・航空機により海上警備を行いました。

密漁対策

悪質・巧妙化する密漁事犯の根絶を目指し、巡視船艇及び航空機などにより徹底した監視取締りを行っています。



潜水器密漁に使用された漁具等



密漁されたさぎえ等の漁獲物

テロ対策・水際対策

原子力発電所など臨海部の重要施設に対するテロ警戒を昼夜問わず行っています。

密輸・密航事犯の取締りや、外国から入港する船舶への立入検査を強化するなど、関係機関と連携した水際対策を行っています。

テロ攻撃や海上犯罪などの様々な事態に備え、日頃から各種訓練・研修に励んでいます。



全国から集結した巡視船艇



G7広島サミット海上警備を行う巡視艇



原子力発電所の警戒にあたる巡視船



警備救難競技会

青い海を守る

Protecting the Marine Environment

未来に残そう青い海

美しい自然に囲まれた瀬戸内海・宇和海ですが、汚水の排出、船舶からの油等の不法排出、廃棄物や船舶の不法投棄は依然として後を絶たないため、関係機関と連携協力して監視取締りを行っています。

また、「未来に残そう青い海」をスローガンに掲げ、海洋環境保全のための指導・啓発などの活動を行っています。

海上環境事犯への対応

付近住民の生活や瀬戸内海・宇和海の自然を守るため、関係機関とも連携協力のうえ、監視取締りを強化しています。



不法投棄監視合同パトロール

海上浮流油や不法投棄に関する情報を受けた場合、巡視船艇及び航空機により、排出源の特定や状況を確認し、適切な措置を講じています。



航空機から捉えた浮流油の状況

海洋環境保全対策

毎年6月に「瀬戸内海・宇和海クリーン作戦」を展開し、幼稚園や小中学校での環境教室や、地域の方々と一緒に海浜清掃を行うなど、海洋環境保全のための啓発活動を行っています。



海浜清掃



環境教室

災害に備える

Preparing for Disasters

災害時、迅速かつ的確な対応を

海上での災害には、船舶の火災、衝突、乗揚げなどに伴う油や有害液体物質の排出といった事故災害と、地震、津波、台風などにより被害が発生する自然災害があります。

こうした災害の発生に備え、迅速かつ的確な対応がとれるよう、防災資機材の整備や訓練などを通して万全の準備を整えているほか、官民連携による防災体制の構築や防災情報の整備・提供などを行っています。

事故災害対策

海上に油等が流出すると、自然環境や付近住民の生活に甚大な悪影響を及ぼします。管内各地区では官民一体となった「排出油等防除協議会」などを組織し、事故に備え対応訓練を行っています。



関係機関と連携した流出油防除訓練

毎分約16,800リットルの放水能力を有する巡視艇や浮流油などの防除資機材を管内の要所に配備しています。



火災船を消火する巡視艇

自然災害対策

南海トラフ巨大地震や豪雨災害などの自然災害が発生した場合には、被災者の救出、物資等の緊急輸送、コンビナート火災などの消火、船舶交通の安全確保などを行います。また、災害復旧のため電力会社等と協定を結び連携強化を図っています。



被災地からの救助搬送
(平成30年7月豪雨)



離島停電に伴う
電力会社職員及び資機材搬送
(令和5年11月)

津波来襲時の船舶の安全対策の検討資料として、海域における津波の挙動などをまとめた「津波防災情報図」をインターネット上で公開しています。



海を知る

Exploring the Ocean

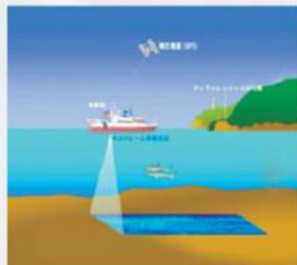
航海の安全のために

航海の安全に必要な海図などを整備するため、水深、潮流・潮汐などの観測、環境保全に資するための水質調査など、様々な目的のための海洋調査を行っています。

また、海図、水路書誌をはじめ、緊急を要する情報を「地域航行警報」として、海上工事、作業などの情報を「管区水路通報」として速やかに提供するなど、地域に密着した各種海洋情報の提供を行っています。

海洋調査

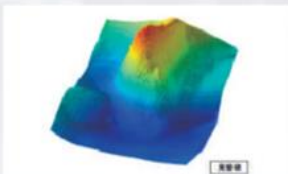
測量船のマルチビーム測深機から音波を広範囲に発射し、海底との往復時間を計測して水深を求めるなど、海底地形を精密に調べています。



測量船による測量のイメージ



海洋調査中の海上保安官



3Dの測量データ

海洋情報の提供

海洋調査で得られた多くの海洋情報を基に海図や水路書誌などを刊行し、提供しています。

また、地域に密着した海洋情報として、プレジャーボートのカキ筏乗揚げ海難を防止するため「カキ筏情報図」などをインターネットホームページ「せとうち情報局」で提供しています。



インターネットホームページ「せとうち情報局」